

令和4年度 指定管理施設検証結果報告書

PLAN	施設名	甲州市勝沼B&G海洋センター			検証日	令和5年7月3日	
	所管課担当名	生涯学習課 勝沼生涯学習・公民館担当		課長名	古屋 勇司	作成者名	後藤みずず
	指定管理者	名称	株式会社 フィッツ				
		代表者	代表取締役 橋本 篤幸				
		所在地	山梨県甲斐市玉川181番地				
		指定期間	令和3年(2021年)4月 ~ 令和8年(2026年)3月				
	管理施設の概要	施設所在地	山梨県甲州市勝沼町勝沼1279番地				
		設置目的	市民の健康増進及び青少年の健全育成を図るため、財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団から無償譲渡を受けた甲州市B&G海洋センターを設置する。				
		利用者	市民及び市民以外	施設管理体制	3名	開館日時間等	・6月、9月:(土日・祝日のみ開館)午後2時~5時 ・7月、8月:午前10時~午後1時及び午後2時~5時 ※休館日:営業期間中は毎週月曜日 :10月1日~翌年5月31日
	事業概要	サービス提供の内容					
指定管理業務		(1)海洋センターの利用の許可に関すること (2)海洋センターの施設及び設備器具の維持保全に関すること (3)海洋センターの利用に係る料金に関すること (4)海洋センターの管理に関し教育委員会が必要と認めること					
	自主事業	(1)水泳教室 (2)水辺の安全教室・ライフジャケット浮遊体験 (3)わくわくカヌー教室 (4)クリーン活動					

管理運営コスト推移(千円)		令和3年度 (指定期間1年目)	令和4年度 (指定期間2年目)	令和5年度 (指定期間3年目)	令和6年度 (指定期間4年目)	令和7年度 (指定期間5年目)
予算	指定管理料	5,800	5,800			
	利用料金収入	50	150			
	その他収入	110	110			
	管理運営経費	5,960	6,060			
決算	指定管理料	5,800	5,800			
	利用料金収入	114	79			
	その他収入	133	129			
	管理運営経費	5,640	5,736			
収支		407	272			
施設の稼働状況		令和3年度 (指定期間1年目)	令和4年度 (指定期間2年目)	令和5年度 (指定期間3年目)	令和6年度 (指定期間4年目)	令和7年度 (指定期間5年目)
指標	利用者数(人)	4,989	5,542			
	自主事業利用者数(人)	256	142			

活動結果 ・適切な施設管理を行った上で、令和4年度事業計画に基づき効果的な運営を行い、支出の削減に務めることができています。

評価観点	評価 (5 4 3 2 1) 高 → 低	評価の説明
(1)事業の運営	3	・協定書及び事業計画書のとおり適切に管理運営が行われている。所管課と連携を図りつつ、様々な自主事業を行うことにより、利用者の確保に努めている。利用者の意見や要望をアンケート等で把握し、管理運営に活かすように努めている。 ・施設内外での利用者等の安全を第一に考え、事故、怪我等なく営業することができている。
(2)施設の維持管理	3	・施設内の設備等については定期的に巡回、点検等を実施するなかで適正な維持管理に努めている。 ・プール内の水質管理や室温管理、また施設外の景観管理等について日常的に点検を実施している。
(3)収入支出	3	・管理運営や経費の効率化に関する計画を定め、その考えのもと、支出額の抑制に努めている。結果として、黒字で管理運営を行うことができています。
(4)総合評価	総合評価の説明(施設所管課による一次評価)	
優良 良好 妥当 要改善 不適	妥当	・利用者等の安全面を第一に考える中で、協定書及び事業計画書のとおり管理運営が適正に実施されている。利用者が快適に施設の利用ができるように、施設内外の維持管理も行われている。

評価結果に対する施設所管課の対応

ACTION	当面の課題	・今年度の収支状況については、施設利用収入及び自主事業収入が計画に達していないため、さらに多くの利用者獲得が必要であり、6月から9月までの運営のなかで、いかに利用者の増加を図ることができかが課題である。 ・ロッカーの故障箇所について、修繕が必要である。
	課題解決への対応	・自主事業については、他市町村の同施設等の企画など参考にしながら、新しい事業も取り入れるなかでさらなる集客を図る。 ・ロッカーの修繕については、30万円以上の費用がかかるため、修繕の程度や方法を指定管理者とも協議する中で予算計上を検討します。

二次評価(公共施設活用等検討委員会での総括意見)

・仕様書及び協定書のとおり適切に管理運営されており、適正な人員配置や施設管理が行われ、事故防止がされている。
・毎年、6月から9月までの季節的な営業であると共に温水プールでは無いため、今年度は世界的な原油高の影響は受けておらず、全体の利用者数は増えたが、勝沼中学校がプールの授業で使用する部分が大いため、収支は例年並みである。自主事業利用人数が昨年度より少なくなっているため、引き続き、利用者増加に向けた事業実施に努めていただきたい。